

11月



2025



ゆめドリ通信

子どもたちの『夢見る力』を育て、未来へ結ぼう

発行：NPO法人こどものみらいプロジェクトゆめドリ

第6号

一気に秋が深まりましたね。様々なイベントが目白押しの2学期はドリームマップ授業の開催も増えていく時。この「ゆめドリ通信」では、子どもたちの夢やワクワクが生まれる瞬間、そしてそれを支える地域・大人たちの想いを毎月お届けしていきます。

TOPICS

- ・地元の大人が地元の子ども達を応援する（愛知・豊橋市）
- ・フランスの高校生にドリームマップ（コルマール）
- ・看護学校生が描く夢とは・・・
- ・活動会員紹介 岩手県での授業の様子といづさんの想い

地元の大人が地元の子ども達を応援する

豊橋市立中野小学校で**豊橋市初のドリームマップ授業**が開催されました。4年生2クラスで実施され、59人の子どもたちが夢を描き、伝え合いました。

豊橋在住の活動会員のお二人も初参加。
地域の子どもたちが夢を描く場を、地域の大人たちがサポートする機会になりました！

現場に立った“あっぽん”こと藤田亜希子さんは
「初めての学校ドリマで、ドキドキしていましたが、
あっという間の濃密な時間でした。
実際に授業に入ってみて、私がいつかメインでやる時は、
こうやるんだな、というイメージができました。途中休憩
でも、少人数で振り返りを言えたのが、安心しました。
いろんな子どもたちがいて、いろんな話が聞けたのも、
勉強になりました。」
と次につながる手応えを感じたそうです。

こちらの学校では、このドリームマップを元に3学期までに様々な形で子どもたちの夢を広げていく予定だそうですね♪



フランスの高校生にもドリームマップ授業

ドリームマップが日本を飛び出して、**フランスへ！**
フランス・コルマール市にあるバルトルディ高校で、3年生の生徒たちがドリームマップを描きました。コルマールは、映画『ハウルの動く城』の舞台モデルにもなった美しい町。

その街の公立高校では、第3外国語として日本語が選択でき、日本の文化やアニメをきっかけに日本語を学びたいという生徒たちが集まっています。

今回の授業を担当したのは、長年フランスにお住まいで、現地の高校教員として日本語を教えていたる”えんまり”さんこと遠藤真理さん。

未来に迷う子どもたちは世界共通。

時差のある中、オンライン研修を受け、生徒たちに**日本と同じプログラム**で“夢を描く時間”を届けてくださいました。授業では、生徒一人ひとりが自分の「好き」や「将来への想い」を写真や言葉で表現しながら、未来の自分の姿を描いていきました。国や言葉が違っても、“**心の底から湧き出す夢を描く**”というステップが、人の心に灯りをともすのは同じ。フランスの教室にも、「**最高の時間！**」とたくさんの笑顔と夢の花が咲きました✿



看護学校生が描く夢とは・・・

和歌山県にある和歌山県立高等看護学院でも夢の授業。3年前から、看護学科1年生 約40名に人間探索の授業の中で「人間と夢」として、180分のオンライン特別プログラムをお届け。
※ドリームマップ自体の作成はありません。

学校様からは、異なる分野からみた「人間」に注目してみてることで、人の感情・こころ・行動・価値・歴史・社会等に触れ、感性を磨き、自分を含めた人間への創造性を高める。そんな授業の一環として、夢をテーマに
1、関心を寄せる。2、受け止める。3、自身の思いや考え方、感情を表現してみることを体験してほしいとのご依頼でした。

夢をテーマに対話することでワクワクが広がり、お互いを知り、認め合い応援しあう関係性が育まれていく。そんなきっかけをお届けする機会となりました。みなさん、とっても楽しそうにワークをしていて、パートごとの振り返りの場面では積極的に手を挙げて発言していました。



ドリームマップ®が 脳科学×心理学の視点で 解き明かされる！

【特別講演会 開催決定！】

子育て・人育てに関わる方必見！

11/29 (土) 13:00~16:00 (懇親会 17:00~)

LMJ東京研修センター 水道橋駅 徒歩3分

※オンライン参加もできます。

登壇

発達心理学 十文字学園大学 長田みづえ教授

脳大成理論 可能性アカデミー 増田勝利学長

ゆめのチカラ 代表理事 三輪裕子

参加費 3,300円（税込）※会員特別価格あり



会員・受講生



一般の方



【活動に関わりたい方へ】

月1回の授業サポートや広報、当日の運営など、関わり方はいろいろ ⇒⇒⇒



会員紹介 Vol.2



今月の会員紹介は岩手県で活動されているいづさんです！

菅原葉子さん（いづさん）
岩手県盛岡市

「子ども達の笑顔や変化から

たくさんの元気をもらっています」

今期、岩手県での初ドリマ授業を終えたいづさんから、11名という少人数学級での授業の様子をお聞きしました。

夢が見つかるのかどうか不安そうだった支援級のお子さんに、その子の好きなことややってみたいことを聞くと楽しそうに話してくれたそうです。

発表の時には、相づちを打ったり、頷きながら聞いたり、大きな拍手とともに「いいね！」って声をかけたり、子ども達が応援し合う姿にも感動したいづさん。

ある子は、真ん中の丸に「命を救えたら、その人の未来は続き、夢を描ける。それがまた続していくので『夢をつなぐ医者』」というキャッチコピーを書いたそうです。

なぜゆめドリ？

娘の学校でドリマ授業があったときに、すごくいい授業だなあと思っていました。そのときドリマ先生として授業に来て下さっていた大村洋子さんとPTAで一緒になったときに、「ドリマ授業、すごくよかったです！」と感想をお伝えしたところ、「よかったら、手伝ってくれませんか？」とお声かけ頂きました。主婦で仕事はしていませんでしたが、やりがいがあることだと感じて思い切って飛び込んでみました。

子ども・教育に関わって感じること

ドリームマップ授業では、時には子ども達との関わりや先生方とのやりとりの中で大変さを感じることもあります。それでも、1日を振り返ったときに子ども達がニコニコしながら自分の好きや夢を語る姿、夢を応援し合う姿、1日で変化していく姿を思い出すと「1日、本当に楽しかったなあ。」という感想がいつも湧き上がります。

★いづさんの夢

「100歳になって、『ばあちゃん、すごく幸せだったよね～！』家族みんなに看取られながら、自分自身も「あ～幸せだなあ」と思いながら人生を終えること。そのため、今もドリマ授業をがんばったり、日々の生活を楽しんだりしているそうです。楽しみですね♪

NOVEMBER ドリームマップ授業実施予定

青森…1校

岩手…1校

福島…1校

愛知…5校